

# 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

## JRC・インターアクト部

高校生ボランティア・アワード2020

### 国際貢献を身近に！

私たちの学校では、総合的な学習の時間でSDGsについて学んでいるものの、国際貢献に興味を持っていてもなかなか行動に移せない、移したくてもどうすればいいかわからないという生徒が多くいます。

そこで、私たちは個人的には参加しづらい国際貢献を学校単位で募金活動に取り組むことによって、生徒たちがより身近に感じられるようにするということを目標にしました。本校の校内でパン販売をしている上村パンの方とコラボをして、新商品のパンを販売し、その売り上げの一部をユニセフや被災地に募金しています。

その他に玄関前や、各教室を回って募金活動を行うなどの、通常の募金活動にも力を入れています。



10月14日から3日間、生活協同組合パルシステム群馬の方と有志の生徒を中心として全校生徒を対象に食品ロス削減に向けての「フードドライブ」を実施しました。多くの生徒が協力し、たくさんの食品が集まり、NPO法人三松会フードバンク北関東へ寄贈しました。

今後、このような活動を広めていき、家庭やお店などで食べきれなくて捨てられてしまうような食品を減らしていきたいと考えています。



地元ロータリークラブとの連携の一つとして、コートジボワールから日本に留学しているダテさんのお話を聞く機会がありました。写真などを使いながらわかりやすく国のことや国の問題を教えていただきました。

短い時間の中でお互いに質問しあったりして充実した時間を過ごせました。これらの話を聞いて、部員内でより一層「国際貢献をしたい！」という意識が高まったように思います。

### コラボパン販売を通して…

2019年11月22日に、本校の校内でパン販売をしている上村パンの方とコラボしたパンを販売しました。7回目の今回は、ミルクキャラメル半チョコを販売し、値段のうちの10円をユニセフに寄付しました。限定200個とパンの数に限りがあったため、事前に整理券を配布して行うという工夫をしました。

2か月ほど前から実際に計画を立て、上村パンの方と交渉を念入りにしていきました。その中で、色々な意見が出て事前準備は不備なく完璧なものになったと思っていました。しかし当日には、整理券を忘れてしまう生徒やそれをきっかけにパンを受け取りに来ることができない生徒もいました。想定外の事態で私たちもどうすればいいのか迷いましたが、仲間と知恵を出し合い、臨機応変な対応によってコラボパンを成功させることができました。

これらのことから、事前準備はもちろんのこと活動を実行していく中で様々なハプニングを想定して、まずは周りをよく見て効率的に物事を進めていけるようにしていきたいと考えました。



販売したミルクキャラメル半チョコ



販売している様子

### さらに国際貢献を身近に

・今後は上村パンの方と相談し、学校内だけでなく地域のイベントや施設などに規模を拡大させていきたいと考えています。

・フードドライブでは、他の部活や企業の方と協力し、私たちだけではできないような規模で実施させてもらい、とても貴重な経験になりました。

・国際交流の一環として行ったコートジボワールからの留学生との交流も、私たちにとって初めて聞く話ばかりでとても興味深く、今私たちが安心して生活できているのも、とても恵まれているのだと改めて実感しました。

そして、それと同時に募金の目的や重要性を知ってもらい、多くの方が募金をするきっかけを作りたいと考えています。国際貢献と聞くと難しくとらえてしまい、「自分には無理だ」と思う人が多いと思います。そのようなイメージをなくせるような活動をこれからも行っていきます。



### 活動団体プロフィール

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校JRC・インターアクト部は現在部員12名で活動しています。主な活動は校内の清掃、エコキャップ回収です。今はコロナウィルスの影響で校外での活動はできませんが、休日には募金活動、地域のイベントのお手伝いなどの様々な活動に参加しています。